

決算公告

(第 22 期)

自 平成31年 4月 1日

至 令和 2年 3月31日

株式会社 ホロニック

兵庫県神戸市東灘区向洋町中6丁目9番地

貸借対照表

(令和 2年3月31日現在)

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	560,265	流動負債	881,744
現金及び預金	466,079	買掛金	60,875
売掛金	43,751	短期借入金	605,000
未収入金	3,151	1年内長期借入金	75,812
未収収益	0	リース債務	2,552
貸倒引当金	△1,265	未払金	72,656
商品	23,509	未払費用	5,572
貯蔵品	2,422	未払法人税等	1,972
前払費用	20,264	未払消費税等	21,874
短期貸付金	1,200	前受金	30,213
立替金	222	前受収益	1,956
預け金	19	預り金	2,766
仮払金	910	仮受金	491
未収消費税等	0		
固定資産	1,386,164		
有形固定資産	1,112,698	固定負債	918,488
建物	900,403	長期借入金	917,288
建物付属設備	78,150	預り保証金	1,200
構築物	9,028		
機械装置	881		
車両運搬具	0		
工具器具備品	49,334		
有形リース資産	2,175		
土地	72,725		
建設仮勘定	0		
無形固定資産	8,379	負債合計	1,800,232
電話加入権	1,328		
ソフトウェア	3,630		
商標権	120		
借地権	3,300		
投資その他の資産	265,086	純資産の部	
投資有価証券	6,389	株主資本	148,513
関係会社株式	133,000	資本金	50,000
定期預金	9,600	資本剰余金	180,319
出資金	20	その他資本剰余金	180,319
長期前払費用	0	利益剰余金	△43,569
保険積立金	76,742	その他利益剰余金	△43,569
差入保証金	37,915	繰越利益剰余金	△43,569
繰延税金資産	1,419	自己株式	△38,236
		自己株式	△38,236
		評価換算差額等	△2,315
		その他有価証券評価差額金	△2,315
		純資産合計	146,197
資産合計	1,946,430	負債及び純資産合計	1,946,430

個別注記表

1.重要な会計方針に係る事項

(1) 資産の評価基準および評価方法

① 有価証券の評価基準および評価方法

その他有価証券

- ・ 時価のあるもの
事業年度の末日の市場価格などに基づく時価法
(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)

② たな卸資産の評価基準および評価方法

- ・ 商品、貯蔵品
最終仕入原価法
(貸借対照表価額については、収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)を採用しております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除く）

定率法（ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）については定額法を、平成28年4月1日以降取得した建物、構築物、建物附属設備は定額法）を採用しております。

なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

建物	3～39年
工具器具及び備品	2～20年

② 無形固定資産（リース資産を除く）

- ・ ソフトウェア
自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用しております。
- ・ 商標権
定額法(耐用年数10年)を採用しております。

③ リース資産

- ・ 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。
なお、リース取引開始日が平成20年3月31日以前の所有権移転外ファイナンス・リース取引は、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っております。

(3) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

2.当期純損益金額

当期純利益 △137,714千円

注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てております。